

平成 2 9 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 大泉町社会福祉協議会

# 平成29年度 社会福祉法人大泉町社会福祉協議会事業報告

## 1 地域福祉の推進

「地域福祉活動計画」による事業展開が、最終年度の5年次を迎え、計画における最終目標を再確認・評価し、第2次地域福祉活動計画を策定しました。

また、高齢者、障害者、母子家庭、低所得世帯等の複雑多様化する福祉課題に対し、生活支援サービスの確保と充実、ボランティア活動、福祉団体等の支援、福祉教育の推進に努めました。

### (1) 法人運営

法人組織の強化、事業運営の透明性の向上等に取り組み、地域に信頼される運営に努めました。また、職員研修会の実施や専門研修に参加し、職員の資質及び専門性の向上を図りました。

#### ① 理事会、評議員会、監事会、第三者委員会等の開催

開催名	開催日	出席者
理 事 会	平成29年 5月26日(金)	9人
	平成29年 6月20日(火)	10人
	平成29年10月23日(月)	10人
	平成29年12月21日(木)	11人
	平成30年 3月28日(水)	12人
評 議 員 会	平成29年 6月19日(月)	18人
	平成29年12月22日(金)	24人
	平成30年 3月29日(木)	22人
監 事 会	平成29年 5月22日(月)	2人
苦情解決第三者委員会	平成29年 5月22日(月)	2人
評議員選任・解任委員会	平成29年 5月22日(月)	5人
正 副 会 長 会 議	平成29年 5月26日(金)	3人
	平成30年 3月28日(水)	3人

#### ② 会員募集の実施

一般会費	2,875,100円(9,583世帯)
賛助会費	2,213,000円(1,105口)
特別会費	500,000円(50口)

#### ③ 役員研修会への参加及び研修会の開催

(研修会へ参加)

研修内容	開催日	参加者
施設職員等新任職員研修	平成29年5月2・8・12日	2人
第54回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会	平成29年7月13～14日	2人
市町村社協会長会議	平成29年7月19日	1人
市町村社協会長セミナー	平成29年9月12～13日	1人
群馬県生活支援コーディネーター養成研修	平成29年11月6・17日	2人
市町村社協地域公益活動研究会	平成29年11月24日	1人

社会福祉法人役員等講習会	平成29年11月30日	1人
市町村社協会長会議	平成29年12月13日	1人
災害ボランティアセンター設置運営研修会	平成29年12月15日	1人
市町村社協会長会議	平成30年1月14日	1人
見守りセミナー	平成30年1月15日	1人
市町村社協トップセミナー	平成30年1月24日	4人
社会福祉法人の地域公益活動推進セミナー	平成30年3月15日	1人

(職員研修会の開催)

内 容	開催日	参加者
大泉町手話言語条例について 手話(入門編)	平成29年11月28日	20人

#### ④適正な会計処理の実施

研修内容	開催日	参加者
市町村社会福祉協議会経理研修会	平成29年8月17日	1人

## (2) 企画広報事業

社協だよりやホームページ等の活用により様々な世代が情報を得られるような仕組みを構築し、住民に本会の事業内容を一層周知するとともに、地区社協やボランティア団体など多くの関係者の活動を紹介することで地域福祉活動への住民参加の促進を図りました。

本年度は、介護職員初任者研修を3町(千代田町・大泉町・邑楽町)社協合同で開催し、福祉人材の育成を行いました。

また、福祉に関する各種事業(イベント等)の開催などの啓発事業を実施するとともに、町内で様々な福祉活動に携わってこられた方々の功績を称えるため社会福祉大会を開催しました。

広報紙「社協だより」の発行 ※「ぼらんていあ」と合同発行	
発行回数	「社協だより」毎月発行
発行部数	13,434部
ホームページリニューアル	
切替時期	平成29年10月
介護職員初任者研修 ※千代田町・邑楽町と共催事業	
開催期間	平成29年7月14日～9月29日(110時間)
参加人数	12人(大泉町5人)
社会福祉大会の開催(保健福祉まつり) ※大泉町と共催事業	
開催日	平成29年11月18日(土)～19日(日)
表彰状受賞者	24人
感謝状受賞者	18人・11団体
大会内容	式典、作品展示、模擬店
戦没者追悼式の開催 ※大泉町と共催事業	

開催日	平成30年3月21日（水）
参加人数	75人

### （3）地域福祉・地区社協事業

地域に住む様々な人の協力や理解を得て、お互いが支え合う新しい小地域ネットワークの構築に努め、地区社協の活動支援、講演会や研修会を開催し、新たな事業の提案や情報の提供を行いました。また、第2次地域福祉活動計画を策定し、地域福祉の充実に努めました。

#### ①地区社協長連絡会議の開催

開催日	出席者
平成29年4月7日（金）	29人
平成29年8月8日（火）	30人
平成30年2月27日（火）	25人

#### ②地域支え愛セミナーおおいずみの開催

開催日	平成29年7月31日（月）
開催内容	基調講演、町内活動事例発表（4団体）
開催場所	公民館
参加者	110人

#### ③地区座談会の開催 ※大泉町と共催事業

開催日	平成29年8月2日（2回）、3日（2回）
開催内容	地域福祉計画・地域福祉活動計画に向けた地域福祉座談会
開催場所	公民館
参加者	128人

#### ④第2次地域福祉活動計画策定に向けた懇談会や委員会の開催

地域福祉活動計画策定懇談会 5回（懇談会委員 17人）

開催日	開催内容
平成29年8月31日	・計画の概要について ・アンケート調査結果について
平成29年9月22日	・事業実績状況調査について ・町民アンケート調査について ・計画の骨子案について
平成29年10月6日	・基本理念（案）及び基本目標について ・計画の素案について
平成29年10月11日	・計画素案について
平成30年1月29日	・パブリックコメント結果報告について ・実施計画について

地域福祉活動計画策定委員会 4回（策定委員 11人）

#### ⑤地区社協の組織確立と活動の支援

地区社協活動費補助

地 区	30地区
補助金額	2,518,900円 (一般会費分 1,916,400円) (賛助会費分 552,500円) (特別会費分 50,000円)

モデル地区指定事業

指 定 地 区	第2区、第3区
指 定 金 額	200,000円 (1地区 100,000円)
指 定 期 間	平成28年度から平成30年度
未 指 定 地 区	14地区 / 30地区

⑥いきいきふれあいサロン事業の実施

平成29年10月2日(月) 東部ブロックふれあい・いきいきサロン研修へ  
地区社協長等参加

サロン指定事業

指 定 地 区	第26区
補 助 金 額	50,000円
指 定 期 間	平成29年度から平成30年度
未 指 定 地 区	8地区 / 30地区

いきいきふれあいサロン実施地区

実施地区数・・・12地区(モデル地区以外の地区社協)

⑦高齢者訪問

実 施 日	平成29年9月8日(金)
対 象 人 数	103人(90・95歳の高齢者に記念品贈呈)

⑧ひとり暮らし高齢者おせち料理配布事業の実施

実 施 日	平成29年12月31日(日)
対 象 者	70歳以上のひとり暮らし高齢者
配 食 数	850食

⑨ひとり親家庭のつどいの開催

実 施 日	平成30年3月17日(土)
実 施 場 所	東京ディズニーランド
参 加 人 数	38人

⑩生活支援事業実施に向けた調査・研究

(研修会の参加)

開 催 日	平成29年9月10日(日)
開 催 内 容	広がれ、こども食堂の輪! 全国ツアー in ぐんま
参 加 人 数	3人

(アンケート調査の実施)

実施期間	平成29年11月～12月
実施内容	『買い物・ゴミ出し』に関するアンケート調査
依頼先	町内の介護支援専門員
回収件数	104件

⑪朗読CDの配付

内容	「広報おおいずみ」をCDに録音し配付
利用人数	視力障害者 2人
実施回数	24回
協力団体	大泉朗読の会ベビーヴォイス

⑫車いすの貸し出し

貸出件数 59件

(4) ボランティアセンター事業

地域のボランティアの状況把握（登録や育成、需要調整等）を行うとともに、ボランティア啓発事業を開催し、新たな活動者の増加に努めました。

本年度は、ボランティア養成のため、各種講座を開催するとともに、「傾聴ボランティアステップアップ講座」を3町（千代田町・大泉町・邑楽町）社協共同で開催し、ボランティア活動者に対するスキルアップのための支援も行いました。

①ボランティアグループ育成援助

ボランティア団体活動補助金の交付

補助団体・・・28団体

補助金額・・・504,000円

②ボランティア講座の開催

福祉体験学習ボランティアスキルアップ講習会	
開催日	平成29年5月25日（木）
開催場所	保健福祉総合センター
参加人数	7人
傾聴ボランティアステップアップ講座 ※邑楽町社協、千代田町社協と共催事業	
実施日	平成29年7月4・11日の2日間
実施場所	文化むら
参加人数	43人（大泉町17人）
親子チャレンジスクール	
開催日	平成29年8月18日（金）
見学場所	つくばサイバーダイナスタジオ ㈱幸和義肢研究所

参加人数	14人
ピザづくり体験講座（障害児者体験講座）	
開催日	平成29年10月15日（日）
開催場所	バリアフリーペンション まついだ森の家（安中市松井田町）
参加人数	11人
レクリエーション講習会	
開催日	平成30年2月27日（火）
開催内容	脳・体・心の健康促進と仲間づくりの レクリエーション
開催場所	文化むら 小ホール
参加人数	111人

③ ボランティアセンター相談・あっせん事業の推進

相談件数・・・99件

あっせん件数・・・94件

ボランティアセンター登録者数

個人・・・17人

団体・・・76団体 1,030人

④ ボランティア保険加入促進

受付件数 75件

加入補助人数 399人

補助額 139,650円

⑤ 広報紙「ぼらんていあ」の発行 ※「社協だより」と合同発行

発行回数	「ぼらんていあ」毎月発行
発行部数	13,434部

⑥ エコキャップ収集運動

回収箱設置場所 8箇所（役場・保健福祉総合センター・体育館・  
いずみの杜・老人福祉センター・町公民館/南別館、図書館）

回収実績 2,139.5kg（約919,985個）

→ポリオワクチン534.9人分

⑦ ボランティア協議会活動支援

協議会活動にかかる費用の助成・活動の支援を事務局として行いました。

（5）福祉教育推進事業

学校との連携を強化するとともに、福祉体験学習等を積極的に実施し、福祉教育の推進を図りました。

①福祉協力校の指定

福祉協力校指定・・・7校（町内全小中学校）

指定期間・・・3年間

②福祉体験学習の実施

対 象	町内小中学校、児童館
実 施 回 数	14回
実 施 内 容	手話・点字・車いす・ブラインドウォーク・ 高齢者疑似体験
協 力 団 体	手話サークルはるにれの会・大泉点字の会・福祉体験 サポートさくら

③小中学生ふくし作文・ポスターコンクールの実施

対 象 町内小中学生

応 募 数 小学生（作文の部） 68作品

（ポスターの部） 50作品

中学生（作文の部） 227作品

（ポスターの部） 126作品

※大泉町、大泉町教育委員会と共催事業

④介護体験教室の開催

開 催 期 日	平成29年8月18日（金）
開 催 内 容	介護体験からできる支援を考える
対 象	町内中学校生徒（3校）
参 加 人 数	25人

※大泉保育福祉専門学校と共催

（6）福祉団体育成支援事業

福祉団体活動にかかる費用の助成、団体事務局として活動の継続支援を行いました。

①遺族会活動支援

②更生保護女性会活動支援

③心身障害児者療育父母の会活動支援

④保護司会大泉支部活動支援

⑤母子会活動支援

⑥老人クラブ活動支援

（7）生活支援事業

関係機関（相談支援機関）との連携を深めるとともに、既存の制度・サービスを活用しながら

ら相談支援に関する取り組みを行い、住民福祉の充実を図りました。

本年度は、新たに子ども就学支援事業の一環として、「学生服リユース事業」を行いました。

事業実施内容	実 績
福 祉 相 談 事 業	相 談 件 数 370件
小口生活資金貸付事業	貸 付 件 数 23件
通 学 補 給 金 事 業	対 象 人 数 6人 (新入学2人)
日常生活自立支援事業	利 用 件 数 16件
学 生 服 リ ュ ー ス 事 業	学生服等寄贈件数 22件 学生服等無償提供件数 6件
法 外 援 護 事 業	利 用 件 数 1件

## (8) 共同募金配分事業

共同募金（一般募金、歳末募金）からの配分金を財源として、各福祉事業費や生活困窮世帯等への支援として活用し、住民福祉の充実を図りました。

### ① 高齢福祉事業の実施

ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

実 施 内 容	毎週1回、地区社協長・ボランティア等の協力により、牛乳等を持参して訪問激励をした。
対 象 者	75歳以上のひとり暮らし高齢者
延 べ 対 象 人 数	4,886人

### ② 障害福祉事業の実施

障害者等紙おむつ支給事業

支 給 月	4・7・10・1月
配 布 内 容	平型、パンツタイプ、テープ式
対 象 者	在宅障害者で紙おむつ使用者
延 べ 利 用 人 数	28人

### ③ 歳末たすけあい運動の実施

歳末たすけあい運動実施会議の開催

歳末たすけあい運動事前会議・・・1回

地区社協長・民生委員合同会議・・・1回

歳末施設入所者見舞

実 施 日 平成29年12月19日（火）

見 舞 先 17ヵ所

対 象 人 員 142人

見 舞 金 額 284,000円

見 舞 参 加 者 13人

歳末たすけあい見舞金

対 象 人 員 9 4 3 人

見 舞 金 額 2, 9 3 7, 0 0 0 円

歳末地域福祉サービス事業

実 施 地 区 1 6 地区

助 成 金 額 5 7 7, 6 0 0 円

## (9) 福祉サービス受託事業

大泉町及び群馬県社協から委託を受け、高齢者、障害者、低所得者等福祉サービス事業を実施し、住民福祉の充実に努めました。

### ①ひとり暮らし高齢者給食サービス事業

実 施 日	土・日・祝日を除く毎日
実 施 回 数	2 4 4 回
配 食 数	5, 5 1 3 食
利 用 人 数	4 5 人 (男 1 8 人、女 2 7 人)

※大泉町委託事業

### ②ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業

支 給 月	4・7・10・1月
配 布 内 容	平型、パンツタイプ、テープ式
対 象 者	在宅ねたきり高齢者等で紙おむつ使用者
延 べ 利 用 人 数	6 1 7 人

※大泉町委託事業

### ③いずみ福祉号（車イス乗降車）の貸出

貸出内容	件 数
通 院	5 5 件
外 出	1 2 件
入 退 院	3 件
合計件数	7 0 件

※大泉町委託事業

### ④手話奉仕員養成講座の実施

(基礎課程)

実 施 期 日 平成 2 9 年 5 月 1 0 日 ~ 1 1 月 1 日 (全 2 5 回)

実 施 場 所 保健福祉総合センター

参 加 人 数 7 人 (大泉町 4 人)

(入門課程)

実 施 期 日 平成 2 9 年 5 月 1 0 日 ~ 1 1 月 1 日 (全 2 5 回)

実施場所 保健福祉総合センター  
 参加人数 19人（大泉町13人）

※大泉町委託事業

※邑楽町社協、千代田町社協と共催事業

⑤生活福祉資金等貸付事業の相談、支援

相談件数

来所	電話	その他	合計
38件	22件	4件	64件

貸付件数

緊急小口資金	教育支援資金	合計
4件	1件	5件

※群馬県社協委託事業

2 介護サービス事業の経営

利用者が、その有する能力に応じて、可能な限り居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図るとともに、安心して日常生活を過ごすことができるよう、居宅介護支援事業を実施しました。

居宅介護支援事業の実施

介護保険法に基づき、居宅介護支援事業を実施し、利用者の心身の状況や家庭環境等を踏まえ、介護保険法、その他関係法令に基づき、関係する市町村や事業者、地域の保健・医療・福祉サービス等と綿密な連携を図りながら、介護支援専門員（ケアマネジャー）によるサービスの提供に努めました。

実施内容	延べ利用件数
居宅介護支援 { 要介護1（497件） 要介護2（349件） 要介護3（292件） 要介護4（120件） 要介護5（76件）	1,334件
介護認定調査	54件
介護予防居宅介護支援	242件
介護予防ケアマネジメント（総合事業）	193件

（研修会へ参加）

研修名	日程	参加人数
大泉町高齢者医療福祉交流研修会	平成29年5月29日	1人
介護支援専門員専門研修 （専門研修課程Ⅰ）	平成29年7月14・21日・ 8月9・24・9月8・21日	1人
介護支援専門員専門研修	平成29年10月6・20日・	2人

(専門研修課程Ⅱ)	11月14・22日・12月15日	
認定調査現任研修	平成29年10月11日	3人
ケアマネジメント研修会	平成29年10月18日 平成30年3月9日	各1人
大泉町高齢者医療福祉交流研修会	平成29年12月15日	1人
ケアマネジメント連絡会	6回	各1人

### 3 地域活動支援センターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、地域において就労の機会等が得難い、在宅の心身障害者に日常生活又は社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図るとともに、日常生活に必要な便宜の供与等の支援を行いました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指し、ノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開 所 日 数	243日
利 用 人 数	12人(男6人、女6人)
ボランティア受け入れ	作業協力、手芸作品制作指導、習字指導 109人
運 営 委 員 会	2回

#### (1) 日常生活に必要な社会性の訓練

利用者一人ひとりの特性や能力を的確に把握し、イベント等へ積極的に出店し、実習販売を行い、接客を通して社会性を身につけ、他者とのコミュニケーション能力の向上の支援を行いました。

また、商業施設での買い物を実施し、小遣い帳の利用により、金銭を扱う機会を設け、正しい金銭感覚を養うとともに、軽微な買い物は一人でもできるよう支援や外食や弁当購入なども実施し、自立生活にも結びつくよう支援しました。

観桜会・工場見学・外食等を実施・・・24回

#### ①職業生活及び職業的自立の基礎的訓練

利用者1人あたり月額10,000円以上を目標に賃金支給できるよう援助を行いました。さらに、喜びと働くことの意義を理解できるよう支援するとともに、金銭を得る事の大切さを感じられるよう支援に努めました。

利用者作業賃金平均額・・・13,034円/月

#### ②職業適性の発見及び機能訓練

自主生産活動(野菜作り、お菓子作り)、衣類の脱着、洗濯や清掃などを通して、利用者の能力に応じた作業を見極め、個々の利用者にあった作業の

発見に努め、必要な支援を行いました。

作業名	作業内容	作業収入額
アルミ缶回収	回収日：年間（隔週） 回収地区：7地区（1, 163軒）	139,570円
お菓子製造 販売	お菓子製造（クッキー・マドレーヌ・パウンドケーキ・チーズケーキ） 受注販売 委託販売（パナソニック内3売店） 訪問販売（SUBARU） イベント販売（18回） 定期販売（毎月10日、保健福祉総合センター）	3,241,680円
畑作業・野菜販売	野菜作り イベントや福祉まつり等販売	53,150円
手芸品制作販売	さをり織りで手芸品製作 福祉まつり等販売	22,900円

### ③家内工業的な授産指導

企業から支援をいただき、軽作業を受注し納期に収めることの意義や重要性を通して、責任感や達成感を得られるように支援を行いました。

作業名	作業内容	作業収入額
下請け作業	車部品の袋詰め（年間） 商業店舗駐車場除草（5～9月）	269,653円

### （3）その他独立自活に必要な指導訓練及び目的達成のため必要な事業

利用者の生活拠点は「地域」であるとの認識に立ち、地域社会との交流を通して、地域社会の一員として、自立して生活できるよう支援を行いました。また、お菓子・野菜等の常設スペースを施設内に確保し、購入・注文の出来る場所を明確にしてほしいというニーズに応え、地域に広くアピールすることに努めました。

広報紙「花ことば」の発行	
発行月	4・7・10・1月
お菓子・野菜等の施設内常設販売	
販売日時	毎週木曜日 午前10時～午後3時
納涼祭の開催	
開催日	平成29年7月27日（木）
開催内容	利用者、ボランティアによる演芸、模擬店、ゲームコーナー等
協力団体	保護者会、ボランティア団体、大泉保育福祉専門学校
総合訓練（避難・誘導・通報・消火）の実施	

実 施 日	平成 29 年 1 1 月 2 4 日 (金)
消火・避難誘導訓練の実施	
実 施 日	平成 30 年 3 月 2 7 日 (火)

#### 4 老人福祉センターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、高齢者の福祉を充実し、高齢者のための各種相談、健康の増進と教養の向上を図るとともに世代間の交流の促進に努めました。

また、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、高齢者福祉の推進を図りました。

##### 運営委員会

・委員 数 9 名

・委員会開催 1 回 (平成 29 年 7 月 2 8 日 場所：保健福祉センター)

#### (1) 高齢者のレクリエーション又は集会のための施設提供

高齢者が集える広間、教養娯楽室、入浴施設等を開放し利用者が交流する場を提供しました。

##### ①開館日数・利用者数状況

単位：人

月	開館 日数 (日)	利用者数	内 訳			
			男		女	
			人 数	割合 (%)	人 数	割合 (%)
4	20	1,607	796	49.5	811	50.5
5	19	1,456	736	50.5	720	49.5
6	22	1,774	895	50.5	879	49.5
7	21	1,560	814	52.2	746	47.8
8	22	1,583	824	52.1	759	47.9
9	21	1,599	838	52.4	761	47.6
10	21	1,583	830	52.4	753	47.6
11	20	1,580	832	52.7	748	47.3
12	18	1,493	745	49.9	748	50.1
1	19	1,566	787	50.3	779	49.7
2	20	1,604	770	48.0	834	52.0
3	22	1,683	842	50.0	841	50.0
計	245	19,088	9,709	50.9	9,379	49.1

②機能回復機開放

利 用 回 数	2 4 5 回
内 容	肩関節輪転運動器、歩行補助平行棒、肋木、フィットネスバイク、ベルトエクサiser、ウォーキングマシーン、椅子式マッサージ機、体重計、ヘルストロン、全自動血圧計
延 べ 利 用 人 数	4, 4 3 0 人

(2) 高齢者の教養向上、健康増進のための事業の開催

教養講座、健康増進講座として次の事業を実施しました。また、利用者サークル活動、クラブ活動の発表の場としてお楽しみ会を開催しました。

お楽しみ会	
開 催 日	平成29年 6月 3日 (土) 平成29年10月21日 (土) 平成30年 2月24日 (土)
開 催 内 容	利用者運営による発表と鑑賞
延 べ 参 加 人 数	1 5 6 人
軽スポーツ大会	
開 催 日	平成29年12月14日 (木)
開 催 内 容	輪投げ大会
参 加 人 数	8 0 人
消費生活センター出前講座	
開 催 日	平成29年6月3日 (土)
開 催 内 容	契約についての基礎知識を学び消費生活についての意識を高めてもらう講座
参 加 人 数	5 8 人
いきいき美容教室	
開 催 日	平成30年1月25日 (木)
開 催 内 容	高齢者向け美容教室を開催し、介護予防及びADL (日常活動動作) の維持・向上を図るとともに、地域高齢者の交流並びに健康寿命の増進に貢献することを目的とする教室
参 加 人 数	1 3 人
孫といっしょのおりがみ教室	
開 催 日	平成30年3月28日 (水)
開 催 内 容	脳の活性化を図るとともに地域高齢者の交流の場の提供と、お孫さんと一緒におりがみを楽しむことで、世代間交流の場を提供する教室
参 加 人 数	6 0 歳以上 7 人

	お孫さん 9人
園児による祖父母の似顔絵作品展示	
開催期間	平成29年9月1日～18日
開催内容	世代間交流の一環として館内に祖父母をテーマにした作品を展示
協力	えのきこども園（年長児）
癒しの湯の開催	
実施内容	りんご風呂：平成29年12月14日～16日（3日間） ゆず風呂：平成29年12月22日（冬至）

### （3）高齢者の生活相談、健康相談その他各種の相談

高齢者の生活相談、健康相談に応じるため、研修・研究し職員の資質、技術向上に努めます。

相談件数・・・46件（延べ46人）

### （4）世代間ふれあい交流事業の開催

高齢者と幼児のふれあいの場として、次の事業を実施しました。

敬老のつどい	
開催日	平成29年9月9日（土）
開催内容	舞踊ショー・舞踊劇
参加人数	62人
お遊戯会	
開催日	平成30年2月9日（金）
開催内容	みよし保育園児によるお遊戯の鑑賞
参加人数	20人

### （5）センターの施設及び設備の維持管理に関する事業

施設及び設備の適正管理に努めました。

自主防災訓練の実施	
実施日	平成29年7月6日（木） 平成30年3月15日（木）
参加人数	各30人

## 5 心身障害者等デイサービスセンターの運営 ※大泉町指定管理施設

大泉町より指定管理者として指定を受け、町内に居住する、既存の授産施設、地域活動支援センター等への通所が困難な在宅の重度心身障害者に、日常生活に必要な基本的な生活習慣の訓練、並びに機能訓練及び入浴サービス等の支援を行い、その介護を行う家族等の負担を軽減すること

を目的とし運営を行いました。

また、利用者個々のQOL（生活の質）を高め、豊かな人間関係の形成と、実りある人生の確立を支援しました。

さらに、保護者、地域社会、関係各機関・団体等との密接なる連携を持って開かれた施設を目指しノーマライゼーションの理念の実現を図ることを目的とし、障害者福祉の推進を図りました。

開 所 日 数	2 4 2 日
利 用 人 数	7 人（男 4 人、女 3 人）
運 営 委 員 会	2 回

### （１）日常訓練・機能回復訓練

利用者の障害特性によって必要な支援目標を立て、集団における支援の場を確保し、体力の維持、増進を図りました。

- ・公園散策・外食会等の実施・・・29回
- ・調理実習の実施・・・・・・・・・・毎月1回

### （２）養護

家庭介護の負担軽減と、衛生的で健康的な生活ができるよう、入浴サービスや散髪同行サービスなどを実施しました。実施にあたっては保護者からの意見や要望等を考慮し、利用者の体調に十分配慮し、入浴希望については、利用回数などの制限は行わず、可能な限り希望に沿うようにサービスを提供しました。

入浴サービス	
実 施 日	毎日（金曜日を除く）
延 べ 利 用 人 数	2 4 6 人
散髪引率サービス	
実 施 回 数	8 回
延 べ 利 用 人 数	1 5 人
延長ケア（朝：8時30分～9時、夕：16時～17時）	
利 用 総 時 間	1 3 1 時間 4 5 分
延 べ 利 用 人 数	1 3 5 人

### （３）その他センターの目的を達成するために必要な事業

地域社会の中の施設として社会的役割を果たすことに努めます。

広報紙「花ことば」の発行	
発 行 月	4・7・10・1月
納涼祭	

開 催 日	平成 29 年 7 月 27 日 (木)
開 催 内 容	利用者、ボランティアによる演芸、模擬店、ゲームコーナー等
協 力 団 体	保護者会、ボランティア団体、大泉保育福祉専門学校
総合訓練 (避難・誘導・通報・消火)	
実 施 日	平成 29 年 11 月 24 日 (金)
消火・避難誘導訓練	
実 施 日	平成 30 年 3 月 27 日 (火)

## 6 地域包括支援センターの運営

大泉町より委託を受け、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、認知症総合支援事業、介護予防事業等を実施しました。

なお、事業の推進においては、地域住民、行政、ケアマネジャー、サービス事業者、民生委員、地区社協等、フォーマル及びインフォーマルなサービス関係者等によって構成される人的ネットワークを構築するよう努めました。

また、地域包括支援センターの保健師、看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士、認知症地域支援推進員がそれぞれの専門性を生かしながら、チームアプローチで支援することにより、迅速かつ効果的な支援を提供しました。

### (1) 総合相談事業

地域に住む高齢者に関するさまざまな相談を受理し、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、フォローするとともに、必要に応じて地域包括支援センターの業務に継続していくといった、地域包括ケアとしての継続支援の入り口となるよう努め、相談からサービスの調整までワンストップサービスが展開できる拠点としての機能を持つよう努めました。

また、地区社協、民生委員、介護保険事業所など地域における様々な関係者とのネットワーク構築に努め、高齢者の持つ課題が解決へと結びつくよう支援体制を構築に努めました。

相談件数

来 所	電 話	訪 問	その他※	合 計
458件	2,017件	1,111件	142件	3,728件

※FAX、メール、他の場所

### (2) 一般介護予防事業

介護予防や認知症予防のための訪問指導や介護予防教室等を開催しました。また、地域において介護予防、認知症予防に関する住民主体の活動が効果的に展開されるよう人材の養成や、活動支援を実施しました。

#### ① 介護予防事業

音楽療法教室	
内 容	音楽を通じ介護予防認知症予防を図る。
実 施 回 数	9 回
延 べ 参 加 人 数	2 1 0 人
脳活げんき講座	
内 容	脳トレーニングを通じ介護予防認知症予防を図る。
実 施 回 数	5 回
延 べ 参 加 人 数	6 5 人
介護予防「ほっとカフェ」	
内 容	交流の中から精神的なつながりや生きがいづくりにつなげる。
実 施 回 数	1 1 回
延 べ 参 加 人 数	1 7 6 人
介護「よぼう仙人」スクール	
内 容	ヨーガ療法・介護予防体操・栄養・漢検教室を行い知識や技術を学ぶ場を提供し介護予防への意識の向上や閉じこもり予防を図る。
実 施 場 所	保健福祉総合センター
実 施 回 数	各教室 9 回
延 べ 参 加 人 数	6 1 1 人
介護予防パーティー	
実 施 期 日	平成 2 9 年 1 2 月 2 5 日 ( 月 )
内 容	介護「よぼう仙人」スクールの各教室の取組発表
実 施 場 所	公民館ホール
参 加 人 数	5 1 人
介護予防基礎教室	
内 容	介護予防と口腔衛生の正しい基礎知識を学ぶ。
実 施 場 所	保健福祉総合センター
実 施 回 数	8 回
延 べ 参 加 人 数	7 2 人
シニアが主役！寸劇講座	
内 容	演劇に関する基本的な知識や技術を学ぶことで生きがいを感じ、自身の介護予防につなげていく。
実 施 回 数	1 5 回
延 べ 参 加 人 数	1 5 6 人
備 考	平成 3 0 年 3 月 1 日 ( 水 ) に認知症サポーター養成講座において寸劇発表を行った。
介護予防把握事業	

内 容	75歳になる方を基準に訪問により介護予防推進を行う。
延べ訪問人数	849人
地域自主グループ活動支援	
内 容	薬剤師派遣や職員による体力測定、認知症講話を通し介護予防、認知症予防を図る。
実施回数	14回
実施グループ数	9グループ
延べ参加人数	290人
介護予防サポータースキルアップ研修	
実施日	平成29年7月26日(水)
実施内容	「高齢者歩行の観察からサポートへ」
講師	日本医療科学大学 助教授 矢嶋 昌英 氏
対象	介護予防サポーター養成研修(初級・中級)修了者
実施場所	公民館 ホール
参加人数	30人
初級中級介護予防サポーター養成研修	
実施回数	4日間×2回
内 容	初級中級介護予防サポーターの養成
実施場所	保健福祉総合センター及び公民館ホール
養成人数	56人
介護予防サポーター情報交換会	
実施回数	3回
実施内容	介護予防サポーター間の情報交換と連携
実施場所	保健福祉総合センター
養成人数	延べ73人
上級介護予防サポーター養成講座	
実施回数	2回
実施内容	上級介護予防サポーターの養成
実施場所	公民館ホール
養成人数	59人

②介護予防プラン作成(平成30年3月末実績)

作成人数(3月実績)・・・278人(直営70人・委託208人)

延べ作成件数・・・3,332人(直営822人・委託2,509人)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

ケアマネジャーが包括的・継続的なケアマネジメントを実施することが必

要であり、その実践を可能とするため、環境整備とケアマネジャーへのサポートを行いました。

①医療福祉連携合同研修会

【第1回】

実施日	平成29年5月29日(月)
実施内容	館林邑楽地域、太田市の退院調整ルールについて
講師	職員
対象	町内および近隣のケアマネジャー並びに近隣市町の医療機関、その他関係機関職員
実施場所	公民館ホール
参加人数	67人

【第2回】

実施日	平成29年12月15日(金)
実施内容	退院時の住宅改修をテーマとしたグループ交流
講師	職員
対象	町内および近隣のケアマネジャー並びに近隣市町の医療機関、その他関係機関職員
実施場所	公民館ホール
参加人数	33人

②ケアマネジメント研修会

【第1回】

実施日	平成29年10月18日(水)
演題	「介護予防ケアマネジメント計画 ～計画書の作成・評価の基本～」
講師	職員
対象	町内及び隣接の市町村のケアマネジャー(包括委託先事業所対象)
実施場所	保健福祉総合センター
参加人数	30人

【第2回】

実施日	平成29年10月18日(水)
演題	「終末期がん患者のケアポイント」
講師	県立がんセンター 医師 風間 俊文 氏
対象	町内及び隣接の市町村のケアマネジャー(包括委託先事業所対象)
実施場所	公民館 大会議室

参加人数	31人
------	-----

#### (4) ケアマネジメント連絡会の開催

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるためには、ケアマネジャーが包括的・継続的なケアマネジメントを実施することが必要であり、その実践を可能とするため、環境整備とケアマネジャーへのサポートを行いました。

実施日	隔月第3水曜日（年6回）
実施内容	ケアマネジャーの情報交換やケアマネジメントの資質の向上と連携の強化
対象	町内ケアマネジャー
延べ参加人数	63人

#### (5) 権利擁護事業

認知症などにより判断能力が十分でない人の財産管理や、日常生活での様々な契約を行うための成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用支援を行いました。

また、複雑な課題を抱えた高齢者に対し、課題解決に向けた支援を検討・実施しました。高齢者虐待を把握した場合には「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」（通称：高齢者虐待防止法）に基づき、町担当課と連携し、対応しました。

さらに、高齢者の消費者被害の防止のため、町の消費生活センターや警察等と連携し、必要な予防対策や支援を行いました。

① 消費者、被害者相談件数・・・5件

② 虐待対応件数・・・・・・・・・・9件

③ 成年後見制度、日常生活自立支援事業に係る相談件数等  
相談件数

成年後見制度 40件（延べ）

日常生活自立支援事業 100件（延べ）

※日常生活自立支援契約件数 16件

④ 成年後見制度研修会

実施日	平成30年1月23日（火）
演題	「認知症と成年後見制度について」
講師	ノンフィクションライター 中澤まゆみ 氏
対象	一般町民
実施場所	文化むら 小ホール
参加人数	73人

#### (6) 認知症総合支援事業

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けることができるよう、関係機関との連携構築に努めるほか、認知症の人やその介護者への相談支援

業務を行いました。

認知症相談	
相 談 件 数	1 5 3 件
認知症サポーター養成研修	
実 施 回 数	4 回
実 施 内 容	認知症についての講話及び対応事例寸劇
延 べ 参 加 人 数	1 2 3 人
認知症キッズサポーター養成講座	
実 施 期 日	平成 2 9 年 6 月 2 8 日 (水) 午後 1 時 3 0 分 ~ 3 時 1 0 分 ( 5 , 6 時 間 目 )
実 施 場 所	大泉町立南小学校 体育館
対 象 学 年	6 年 生 2 クラス
参 加 人 数	1 0 5 人
オレンジカフェひだまり開催 (認知症カフェ)	
実 施 回 数	1 1 回
延 べ 参 加 人 数	1 4 9 人
認知症介護講演会	
開 催 日	平成 3 0 年 1 月 2 5 日 (木)
開 催 内 容	認知症について
講 師	足利富士見台病院 院長 根岸協一郎 氏 グループホームマゼンタ和 ホーム長 須貝仁志 氏
実 施 場 所	公民館ホール
対 象	一般町民
参 加 人 数	7 2 人
認知機能評価支援システム「タッチエム」	
内 容	タッチパネル式パソコンを使用し、頭の元気度として評価し、それにより認知症の予防や早期発見に役立てる。
実 施 人 数	7 3 人

## (7) 普及啓発事業

### ①職員による講演

実 施 回 数 8 回

延 べ 参 加 人 数 2 6 6 人

### ②保健福祉まつり (地域包括支援センターのブースを設置)

クイズ参加人数 1 5 1 人

内 容 クイズや体力測定、展示を実施

## 7 生活困窮者自立相談支援事業 ※群馬県社協委託事業

群馬県社協の委託を受け、2年目となる生活困窮者自立相談支援事業においては、支所社協の役割として邑楽郡5町の関係機関との連携を図るとともに、相談者に対し生活支援や就労支援を行い、安定した生活に向けて仕事や住まいの確保などあらゆる面で支援を行いました。

生活困窮者自立支援事業担当者研修会へ参加

開催日	開催内容
平成29年7月31日～8月2日(3日間)	自立相談支援事業従事者養成研修(前期)
平成29年11月20日～22日(3日間)	自立相談支援事業従事者養成研修(後期)

生活困窮者自立支援事業の相談、支援

相談件数・・・274件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
電話	58	29	31	43	4
面談	40	24	6	16	11
その他	3	1	1	7	0
計	101	54	38	66	15

支援件数・・・578件

	大泉町	邑楽町	千代田町	明和町	板倉町
訪問・同行支援	38	10	9	52	9
他機関との会議	0	2	0	4	1
他機関との電話照会・協議	88	33	31	186	18
その他	31	16	0	50	0
計	157	61	40	292	28

支援調整会議・・・・・・・・・・9回

支所社協相談支援員連絡会議・・・11回

## 8 その他福祉事業の推進

### (1) 日本赤十字社事業への協力

日本赤十字社は、災害救護や国際救援などの活動を行うために、会費・赤十字活動資金と寄附金を財源として活動しています。

日本赤十字社の会費は、住民の安全と健康及び福祉の保持、あるいは防災、罹災者の救護等の面で活用されています。

#### ①社員・社費募集への協力

収納会議 1回

社費総額 5,288,000円

※日本赤十字社群馬県支部へ送金

② 献血事業への協力

実施回数 2回

献血人数 受付者 48人 採血者 42人

③ 義援金受付（平成30年3月31日現在）

東日本大震災募金総額	17,864,461円
平成28年熊本地震災害義援金総額	4,102,932円
平成29年7月5日からの大雨災害義援金	210,136円
秋田県大雨災害義援金	23,806円
台風第18号災害義援金	254円

※日本赤十字社を通して被災地へ送金

④ 日本赤十字社群馬県支部大泉分区事務局として協力

(2) 共同募金運動事業への協力

共同募金運動は、赤い羽根をシンボルマークとして地域住民や学校・企業等で募金をお願いし、高齢者や障害者に対する福祉の充実、子育て支援活動、地域福祉活動の啓発や推進のために活用されています。また、災害支援資金として使われています。

① 一般募金への協力

運営委員会 1回

配分審査委員会 1回

収納会議 1回

イベント募金 2回（環境フェスティバル、町民体育祭会場）

募金実績額 3,928,409円

※群馬県共同募金会へ送金

② 歳末たすけあい募金への協力

社協・民協合同会議 1回

募金実績額 3,216,451円

※群馬県共同募金会へ送金

③ 保健福祉まつりへの参加

平成29年11月19日（日）共同募金啓発ブース設置

④ 群馬県共同募金会大泉町支会事務局として協力

(3) その他の福祉事業への協力

本会の目的達成のため、協賛や後援事業など積極的に取り組んでいます。

① 邑楽郡心身障がい児者療育父母の会事務局

② 邑楽郡老人クラブ連絡協議会事務局

③ 後援事業

大泉町高齢者・身体障害者スポーツ大会

大泉町文化むら大衆演劇

SUBARU 労連クリスマスチャリティー公演

大泉町ぐるみ人権教育推進大会

大泉町制60年記念花火大会